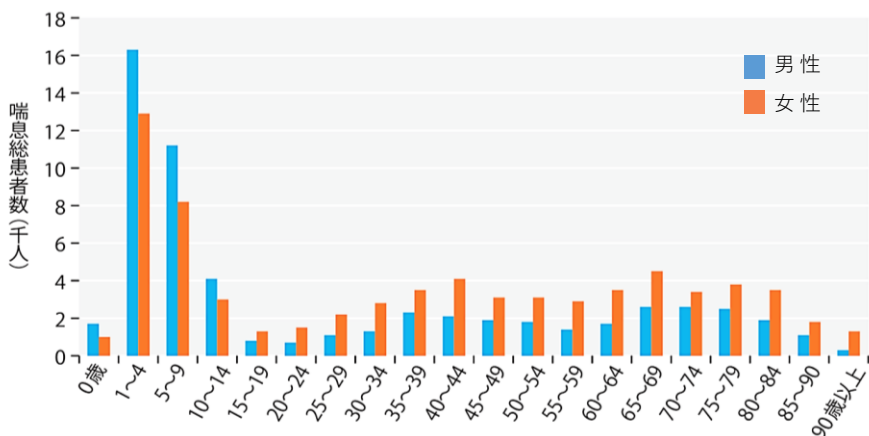




立春の候、地域の先生方にはますますご清栄のことと存じます。
今月号は、呼吸器内科部長の大谷より、喘息の治療関連についてご紹介させていただきます。

治療抵抗性の喘息は生物学的製剤が有用

市立池田病院呼吸器内科は、常勤医3名のうち1名がアレルギー専門医であり、悪性腫瘍や感染症だけでなく、喘息についても質の高い治療をめざしています。



厚生労働省：平成26年患者調査（傷病分類編）、傷病別年次推移表
日内会誌 107：2059～2066，2018

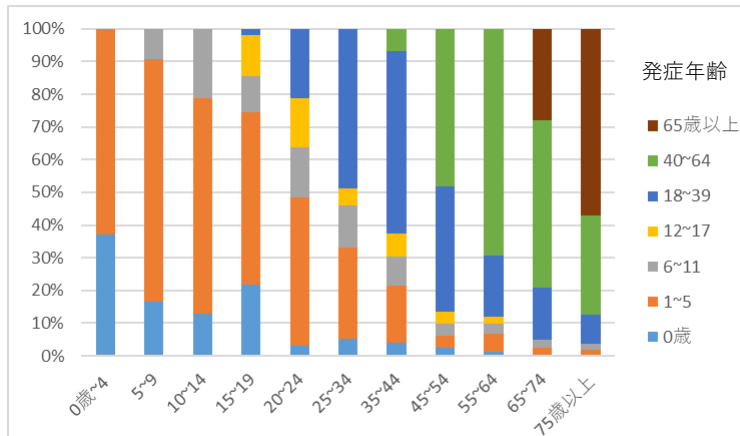
左グラフは、喘息の世代別患者数です。

小児喘息は、2～3歳までに60～70%が、6歳までに80%が、それぞれ発症します。その後、思春期までに大多数は症状が軽快しますが、約30%は成人喘息に移行します。

成人してからは40歳と60歳で二峰性ピークをつくります。喘息は決して子どもだけの疾患ではなく、中高年の疾患でもあります。

右グラフは、各世代の喘息様症状の発症年齢の割合です。15歳～19歳は喘息患者が一番少ないのですが、患者の割合は小児喘息からの遷延がほとんどで新規患者はあまりないようです。新規患者が多くなるのは25歳以降で、どの年代でも同等数の新規患者が出ています。65歳以上の高齢発症も珍しくはありません。

中高年発症の喘息は非アトピー性（RAST陰性）の場合が多く、大気汚染、頭痛、腰痛などでNSAIDs長期使用による薬の感作なども要因になります。



平成15年厚生労働省保健福祉動向調査(全国調査)
「アレルギー様症状」 日内会誌 107：2059～2066，2018

治療抵抗性の喘息となる原因は、世代や個人によって喘息発症の要因が違っており、その病態を正しく把握できていないことがあります。

疫学的分類後、RASTなどを測定してアトピー性か非アトピー性かを区別します。また、好酸球数、呼気NO、肺機能検査などからType 2炎症かどうかを推定し、生活環境の改善を提案し、生物学的製剤を念頭に、その人にあった治療を進めます。

IgE	マスト細胞と結合し、ヒスタミン、ロイコトリエン放出	Omalizumab(Anti-IgE)
IL-4	B細胞にIgMからIgE産生を促すクラススイッチをする。血管内皮にVCAM-1の発現を促し好酸球動員	Dupilumab(Anti-IL-4Rα)
IL-13	ペリオスチン産生促し、繊維化、リモデリング上皮、歪細胞に粘液産生を促す	
IL-5	好酸球の分化誘導、活性化	Mepolizumab(Anti-IL-5) Benralizumab(Anti-IL-5R)
TLSP	上皮、平滑筋から分泌され、IL-33などのサイトカインの効果を増幅する	Tezepelumab(Anti-TLSP)



入退院サポートセンターで地域と病院の橋渡し



がん性疼痛看護認定看護師
音地 真理

入退院サポートセンターでは、入院が決まった患者さまに自宅での生活や症状を確認し、検査や治療によって異なる必要な持ち物や入院生活に関する説明を看護師と事務職が分担して行っています。

入院までの生活に支障や不安がある場合、また、退院後にADLの低下が予測される場合は、入院前から担当のケアマネージャーと情報を共有し、対応を相談しています。

そうして得た情報を基に、ADLや介助に注意が必要な場合は、入院直後から要望に対応できるように、病棟へ情報提供を行っています。



入退院サポートセンター窓口

患者さまの退院後の生活を見据えた関わりを意識し、患者さまが自宅でも病院でも安心・安全に療養できるよう、地域の担当者と入院後に関わるスタッフとの橋渡しをめざして、日々一人一人の患者さまと対応しております。

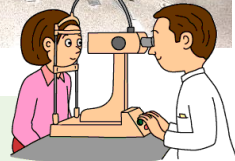
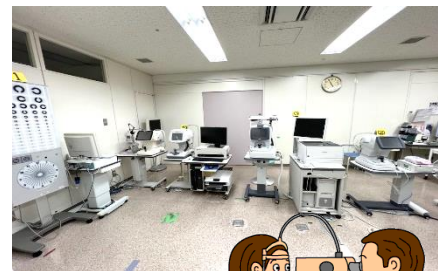
眼科 検査部門の紹介

眼科では現在、4名の視能訓練士が在籍し、検査にあたっています。

視力、眼圧、白内障術前検査、OCTによる三次元画像解析、眼底撮影、眼位・眼球運動検査等のほか、視野検査、眼鏡処方、視能訓練などの特殊検査も行っています。

また、他科でのロボット支援手術開始に伴い、長時間頭低位に対する眼科的評価のため来科する患者さまも増え、検査の有用性を感じています。

最近の眼科機器や医療の進歩に対応すべく、認定資格も積極的に取得し、正しい診断に結びつく迅速な検査を心がけています。



このような白黒反転カレンダーをご存じですか？

眼科の廊下に掛けてあるのを見た方々から「見やすいね」と好評です。ロービジョン患者さまに限らず視力低下を感じる方には、このようにコントラストを利用した様々な商品がありますので、お勧めしてみたいかがでしょうか。



今月の一品



濃厚とろける

とうふ 生チョコ



豆腐はしっかりすりつぶした方がより滑らかな舌触りになります。



材料(16個分)

板チョコ	2枚(100g)
絹ごし豆腐	75g
ココアパウダー	適量

<作り方>

- ① 豆腐は軽く水切りし、ゴムベラでつぶす。
- ② 板チョコを細かく刻み、600Wで1分加熱する。一度取り出して混ぜ、さらに40秒加熱し、溶かす。
- ③ 溶かしたチョコを①の豆腐に加え、豆腐の粒感がなくなるまで、ゴムベラですりつぶしながらよく混ぜる。
- ④ バットの上にクッキングシートを敷き、③を流し入れ、冷凍庫で30分ほど冷やす。
- ⑤ お好みの大きさに切り、ココアパウダーをまぶす。